

共同ワークショップ「日本の機関リポジトリの今2006」要綱

国立情報学研究所では、平成17年度より、CSI (Cyber Science Infrastructure) 事業の一部として、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業を開始しました。この事業は機関リポジトリの導入を支援し、日本国内の学術情報の発信・流通環境を整備しようとするものです。この事業により、現在、国私立57大学に機関リポジトリが導入されつつあります。

CSI事業のうち、機関リポジトリの先端的研究・開発を大学に委託する領域2の事業において、「機関リポジトリの活性化」「著作権ポリシーの共有機能」の2つのテーマが採択され、前者は北海道大学、千葉大学、金沢大学、後者は筑波大学、千葉大学、神戸大学が担当となって事業を進めているところです。

今回、この5大学が主催して、著作権やオープンアクセスなど機関リポジトリを巡る学術情報環境、機関リポジトリを導入するためのケーススタディをテーマとするワークショップを、「日本の機関リポジトリの今2006」と題して開催することとなりました。

大学図書館だけでなく、学術情報環境全般の改善にとって愁眉の課題となっているこれらのテーマについて、CSI事業参加大学だけでなく、広く機関リポジトリに関心を有する国公立大学に参加をお願いする次第です。

1. 主催機関 CSI事業領域2「機関リポジトリの活性化」「著作権ポリシーの共有機能」
担当大学 北海道大学、筑波大学、千葉大学、金沢大学、神戸大学

2. 共催機関 関東地区国立大学図書館協会

3. 日時

平成18年11月16日(木) 第一部

13:30—17:00 著作権とオープンアクセス

17:30 - 20:00 懇親会(千葉大学けやき会館)

平成18年11月17日(金) 第二部

9:30 - 17:00 機関リポジトリの構築に向けて：CSI事業の意義とケーススタディ

4. 場所 千葉大学けやき会館

5. ワークショップ内容

第一部 著作権とオープンアクセス

- (1) 海外研究成果のオープンアクセスの動向

高木和子 (千葉大学附属図書館ライブラリーイノベーションセンター)

- (2) 国内学会アンケート調査と今後の動向

富田健市 (筑波大学附属図書館情報管理課長)

- (3) パネルディスカッション

座長 土屋俊 (千葉大学附属図書館長)

パネリスト 白鳥正樹 (日本機械学会副会長・横浜国立大学附属図書館長)

高橋久一郎 (日本哲学会事務局長・千葉大学文学部教授)

その他学会関係者数名を予定

第二部 機関リポジトリ構築に向けて：CSI事業の意義とケーススタディ

- (1) 機関リポジトリの役割とCSI事業の意義 国立情報学研究所

- (2) 機関リポジトリ導入事例報告 DRFほか

- (3) ポスターセッションダイジェスト ポスターセッション参加者、DRF

- (4) 全体ディスカッション、質疑応答 参加者全員、DRF

- (5) 機関リポジトリ広報グッズ展示・コンペ 参加者全員、DRF

* 第二部特別企画

(1) ポスターセッション (16 日 13:00 ~ 17 日 15:00)

ワークショップと平行して、各大学の現状と今後の展開を発表するポスターセッションを行います。ポスターセッション参加者には、ポスター展示と会場でのポスターダイジェスト発表の時間が与えられます。会場の都合上、10 機関程度の参加を予定しております (先着順)。なお、ポスター展示は、16 日の午後より行います。参加希望期間の方は、16 日からの参加をお願いします。

(2) グッズコンペ (16 日 13:00 ~ 17 日 15:00)

各大学で作成された機関リポジトリ広報用のグッズの展示・コンペを行ない、ランキング発表を行います。グッズ展示・コンペに参加される大学はその旨申し込み時にお伝え下さい。多数の機関の参加をお待ちしています。

* 領域 2 の「機関リポジトリの活性化」では、北海道大学、千葉大学、金沢大学が、機関リポジトリの振興のための連携活動を実施します。DRF は Digital Repository Federation の略称で、この連携活動に名称を与えたものです。今回のワークショップの第二部はこの DRF の活動として実施します。第二部では、DRF の連携活動についてもご説明する予定です。

6 . 申し込みについて

11 月 10 日 (金) までに、別紙 1 の書式に記入の上、下記の千葉大学の担当係までメールでお申込下さい。ポスターセッション、グッズコンペなどワークショップの詳しい内容などについても下記までお問合せをお願いします。

また、2 日連続で参加される場合の宿泊場所については各参加機関で確保されるようお願い申し上げます。会場の千葉大学およびけやき会館については、下記をご覧ください。

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/about/map/route.html> (千葉大学への交通経路)

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/about/map/nishichiba.html> (キャンパスマップ)

参加費 無料

懇親会に参加される場合のみ 3000 円

8 . 受付担当

千葉大学学術情報部雑誌情報係 担当 鈴木宏子

電話 043-290-2253 FAX 043-290-2255

メール irsymp@ll.chiba-u.ac.jp

別紙 1 ワークショップ「日本の機関リポジトリの今 2 0 0 6 」参加申し込み

機関名 :

参加者氏名 :

参加者所属 :

参加者担当業務 :

参加者連絡先

 メール :

 電 話 :

参加希望

(1) 第一部	参加	不参加
(2) 第二部	参加	不参加
(3) 懇親会	参加	不参加
(4) グッズコンテスト	参加	不参加
(5) ポスターセッション	参加	不参加

ワークショップへの要望・質問(この枠におさめる必要はありませんので、できるだけ詳細にお願いします。):